

## ◆今期間のポイント

## &lt;主要じょう乱の概要&gt;

- 25日は、低気圧が日本の東を進み、高気圧が沿海州付近へ移動して西高東低の気圧配置となる。
- 26日は、高気圧が日本付近を移動し、ボツ海付近に低気圧が進む。また、東シナ海で前線が発生する。
- 27日から28日にかけて、低気圧が日本海と本州南岸付近をそれぞれ進む。
- 29日は、低気圧はオホーツク海に進み、東シナ海に移動した高気圧が日本の南に張り出す。

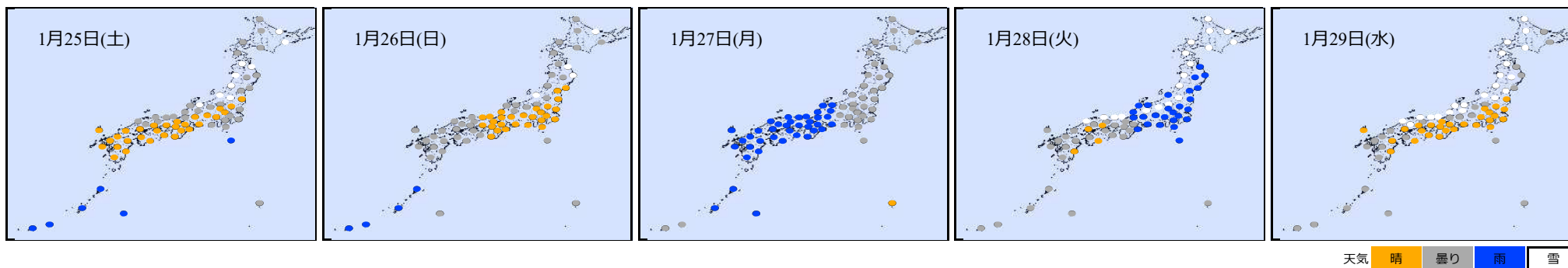
## &lt;防災事項&gt; 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

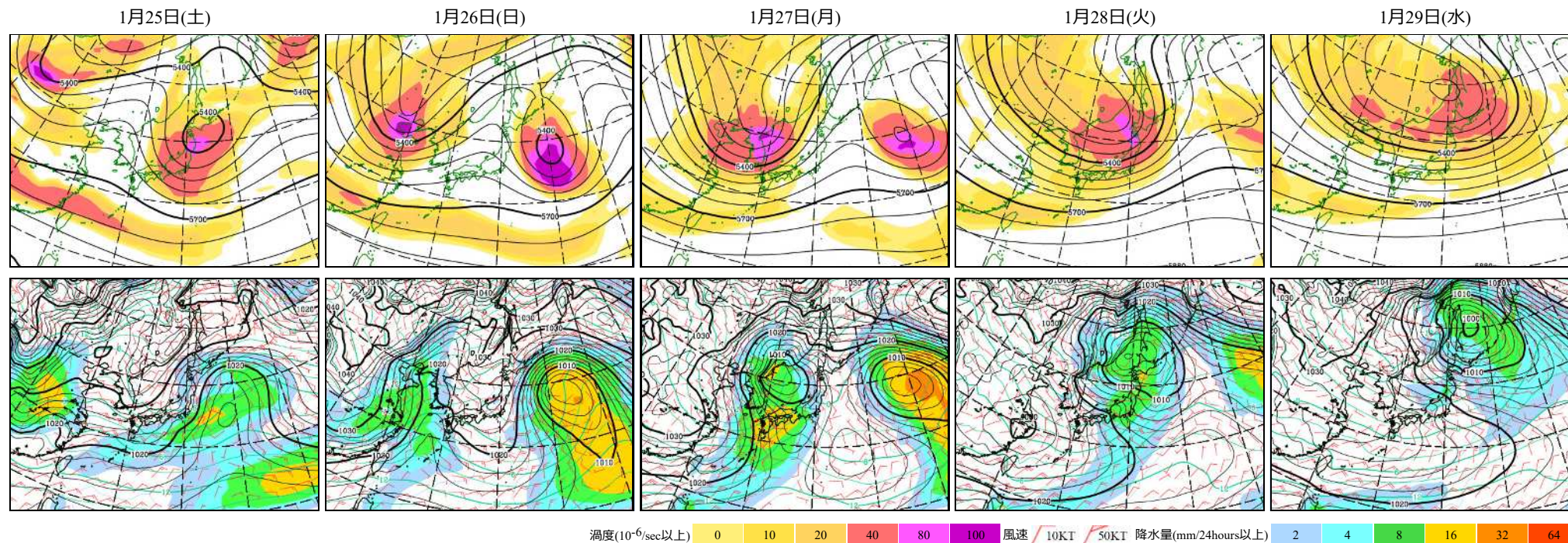
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

## ◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

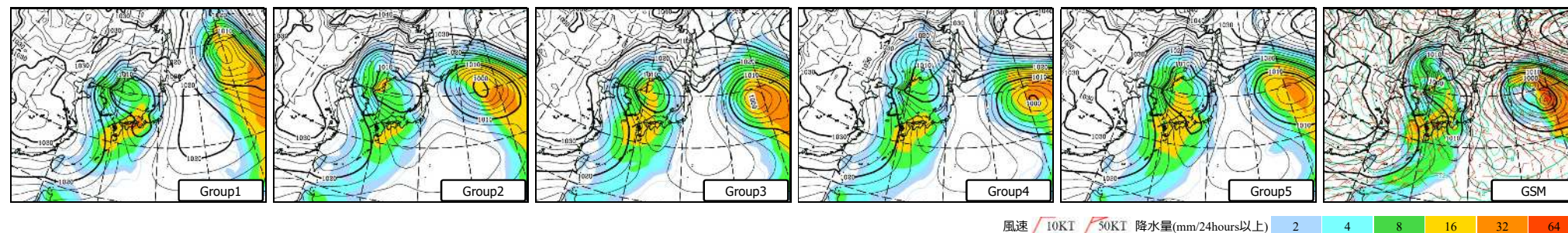


- 北日本と東日本から西日本にかけての日本海側は、曇りや雪または雨の降る日が多い。
- 東日本から西日本にかけての太平洋側は、晴れまたは曇りの日が多いが、27日から28日にかけては雨の降る所がある。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすく、25日から27日にかけては雨の降る所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆1月27日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料 (ENS) は、25日から26日に日本の東に進む寒冷渦がやや遅くなった。また、28日に日本付近に進むトラフが深くなった。地上の気圧配置の予想は、大きな初期値変わりはないが、28日の日本海の低気圧は発達する傾向になった。
- モデル間の差は昨日よりも小さくなった。27日から28日にかけては、各モデルともに本州南岸を低気圧が進む予想になったが、低気圧が進むタイミングにはモデル間の差がある。ECMは他のモデルよりも半日程度遅い。ENSには、各モデルに近い予想をするメンバーの他、南岸低気圧を予想しないメンバーも含んでいる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。
- 27日以降は、気圧の谷の東西の進みに不確実性がある。今後の予想資料によっては、雨の降り出すタイミングが前後する可能性がある。